

事務事業名		施設の維持管理事業(し尿処理事業)		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業																																
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目																																
	施策名	06 廃棄物の排出抑制と適正処理				会計	款	項	目	事業																												
	基本事業名	03 し尿の適正処理の推進				06	04	01	01	00																												
根拠法令		廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条、令4、浄化槽法第3条		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		06 04 01 01 00																																
部課名		気仙広域連合 衛生課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 40 年度～)																																		
所属	係名	総務係	電話 26-3739 内線 (直通)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～年度		06 04 01 02 00																																
				全体計画欄の総投入量を記入																																		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)																																
<p>構成市町(大船渡市・陸前高田市・住田町)で排出され、委託業者により収集運搬されたし尿等を処理する施設である衛生センターを維持管理運営していく事業である。</p> <p>施設の維持管理システムには、直営と委託の方法があるが、当施設は開設以来直営で行ってきていたところであるが、平成22年度からは維持管理業務を民間業者へ包括的に委託することとした。</p> <p>当広域連合が行う具体的な業務内容は、次のとおりである。</p> <p>維持管理業務委託に係る事務、受託業者が行った業務の確認及び指導、維持管理業務委託料の支払事務。</p> <p>また、し尿の収集運搬委託業者が投入したし尿量及び浄化槽汚泥収集運搬許可業者が投入した浄化槽汚泥量を確認し、委託業者へはし尿処分手数料、許可業者へは衛生センター使用料の納入通知書を毎月発行し、納入を確認している。</p> <p>なお、平成18年4月より、維持管理経費の受益者負担として住民より徴収しているし尿処分手数料を25円/500から10円/500(くみ取り料金330円に含まれる。)に改正した。</p>						<table border="1"> <tr><td>総投入量</td><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>都道府県支出金</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>一般財源</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>事業費計(A)</td><td>0</td></tr> <tr><td>人件費</td><td>正規職員従事人数</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>延べ業務時間</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>人件費計(B)</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>トータルコスト(A)+(B)</td><td>0</td></tr> </table>			総投入量	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源			事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数			延べ業務時間			人件費計(B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量	国庫支出金																																					
	都道府県支出金																																					
	地方債																																					
	その他																																					
	一般財源																																					
	事業費計(A)	0																																				
人件費	正規職員従事人数																																					
	延べ業務時間																																					
	人件費計(B)	0																																				
	トータルコスト(A)+(B)	0																																				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
受け入れたし尿等を全て適正に処理した。平成16年度及び平成19年度に退職した技術職員の補充は行わず、臨時職員の雇用と維持管理業務の一部を民間業者へ委託することにより対応した。委託業者から手数料、許可業者から使用料を徴収した。		ア	し尿等受入量
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	施設休止日数
施設の維持管理業務を包括的に民間業者へ委託し、受け入れたし尿等を全て適正に処理する。委託業者から手数料、許可業者から使用料を徴収する。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
<ul style="list-style-type: none"> 構成市町内で排出され、施設で処理するし尿等 し尿処理施設 構成市町の住民 		名称	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		単位	
<ul style="list-style-type: none"> 構成市町内で排出され、収集運搬されたし尿等が公衆衛生面及び環境面上問題のない形に全て処理される。 し尿高度処理システムが休止することなく常に良好な状態である。 維持管理コストを抑え、構成市町の住民が財政的負担を感じないようにする。 		カ	し尿等処理量
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		キ	1日における公称処理能力
<ul style="list-style-type: none"> 構成市町内で排出され、収集運搬されたし尿等が公衆衛生面及び環境面上問題のない形に全て処理される。 し尿高度処理システムが休止することなく常に良好な状態である。 維持管理コストを抑え、構成市町の住民が財政的負担を感じないようにする。 		ク	構成市町の人口 (4月1日現在・外国人登録者含む)
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		サ	し尿等処理率(処理量/受入量)
		シ	1日の平均稼働率(処理量/(365日-施設の休止日数)/処理能力130)
		ス	人口1人あたりの維持管理コスト (トータルコスト/人口)

(2) 総事業費・指標等の推移		年度							
		単位	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	25,811	10,468	10,114	10,136	9,892	9,238
		一般財源	千円	61,114	74,807	85,576	106,041	112,128	122,757
	事業費計(A)	千円	86,925	85,275	95,690	116,177	122,020	131,995	
人件費	正規職員従事人数	人	6	6	6	5	5	3	
	延べ業務時間	時間	8,280	8,280	8,280	8,100	8,100	3,600	
	人件費計(B)	千円	33,120	33,120	33,120	32,400	32,400	14,400	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	120,045	118,395	128,810	148,577	154,420	146,395	
活動指標	ア	kl	51,122	52,343	50,571	50,685	49,476	46,192	
	イ	日	0	0	0	0	0	20	
	ウ								
対象指標	カ	kl	51,122	52,343	50,571	50,685	49,476	46,192	
	キ	kl	130	130	130	130	130	130	
	ク	人	76,577	75,688	74,576	73,625	72,776	72,137	
成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100	
	シ	%	107.7	110.3	106.6	106.8	104.3	102.9	
	ス	円	1,568	1,564	1,727	2,018	2,122	2,029	

事務事業ID	1089	事務事業名	施設の維持管理事業(し尿処理事業)
--------	------	-------	-------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
し尿の処理は、昭和39年にし尿処理行政の効率的な運営を目指して2市2町(現在2市1町)の広域で開始した。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
委託業者のし尿収集量は、年2~3%減少傾向にある。今後、下水道敷設が進んで減少が加速化すると推察される。し尿処理施設は、昭和62年に更新され23年が経過した。既存施設を改修し延命化(15~20年)を図る方針のもとに、平成16~19年度にかけて大規模改修を行っている。施設更新以来、常時10年以上の経験をもつ専門技師4名を配置して施設の維持管理を行ってきたが、平成21年度末をもって施設技師が全員退職し、平成22年度からは同業務を民間業者へ包括的に委託している。事業費は、住民受益者負担の10円/500と構成市町の負担金でまかなっている。平成22年度末に発生した東日本大震災によって被災し、衛生センターが完全に機能停止したことから、その復旧が急務である。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
昭和62年施設更新時よりし尿等処理運転コストが引き下げられて業界界にも取り上げられたこともあり、議会等で施設技師の技術と熱意が高く評価されてきた。しかし、平成21年度末をもって技師全員が退職したため、平成22年度からは民間業者へ包括的に委託しているが、委託後においても、維持管理コストが上がることはないよう議員から要望が出されている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] 構成市町内で排出されたし尿等が公衆衛生面及び環境面上において問題のない形に処理されることは、環境の保全につながるものである。また、し尿等がこのように適正に処理されるためには、当施設の処理システムが休止することなく、常に良好な状態でなければならないものであり、また、維持管理コストを抑制することにより住民が安心して快適に暮らせるものと考えられる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、市町村はその区域内における一般廃棄物を収集、運搬及び処分しなければならないと定められている。当連合は、構成市町である大船渡市、陸前高田市、住田町の区域のし尿の収集、運搬及び処分に関する事務を行うことになっている。※し尿や浄化槽汚泥は、一般廃棄物に区分されている。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] 当事業は、構成市町内で排出されたし尿等の処理と施設の維持管理事業であるため、対象は適切である。意図においても廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められており適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] 下水道の普及に伴い、し尿の収集量が年々減少していることから1日の平均稼働率は年々下がっているものの、し尿等の処理率は100%であるため、これらの項目については向上余地はない。また、人口1人あたりの維持管理コストが上昇傾向にあるのは、し尿の性状の変化(浄化槽汚泥の割合の増加)によるものであり、施設運営方法を包括委託としたことにより、直営による場合と比較し、今後のトータルコストの抑制ができた。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 廃止又は休止した場合、代替施設が構成市町内にはないため、他地域へ委託することになる。遠野、釜石、気仙沼等の近隣他自治体との管理統合は、処理能力の面から継続的な処理はできない。そのため、民間業者への処分委託となるが、現段階では青森県の民間業者への委託となり、運搬費用が莫大となる。また、委託の場合は、災害時対応が難しい。東日本大震災により事業の休止を余儀なくされているがし尿処理の対応に苦慮している。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 代替施設がない。(下水道浄化センターは、原尿の取り扱いができない。)また、下水道は構成市町内全域に進んでおらず、下水道への移行が地形的に無理な地域もあるため、し尿処理施設は必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 引き続き受託業者へ経費節減の協力を求めているが、直営当時の人件費、薬品等消耗品費、重油等の燃料費等を勘案すると委託料は妥当な額であると考えられる。また、包括委託したことにより、薬品等の値上げのリスクは受託業者が負うこととなり、職員の事務量の軽減も図られた。今後、委託業務が適正に行なわれているか、遂行状況を随時確認していく。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 包括委託したことにより、衛生課職員の事務量の軽減が図られた。それにより、他課の業務も兼務できることとなり、当広域連合全体として人件費を削減できた。
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 昭和62年施設更新時に、し尿処理に係る経費の10%を目標に受益者負担(処分手数料)を課すことに決定。更新に係る地方債償還が終了のため、平成18年4月から手数料改正を行い受益者負担を軽減し、管内統一料金とした。なお、受益者負担を課していない市町村も多い。

事務事業ID	1089	事務事業名	施設の維持管理事業(し尿処理事業)
--------	------	-------	-------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>し尿等の処理については、施設を休止することなく、公衆衛生面及び環境面において適正な処理ができた。また、平成22年度から、施設の維持管理を民間業者に包括委託したことにより、職員の事務量の軽減も図られ、引き続き直営方式により施設の維持管理を行なった場合と比較し、経費削減に繋がっていくものと思われる。今後は、平成22年度末に発生した東日本大震災により休止した施設の復旧を行い、一日も早いし尿処理の再開に努めたい。</p>					
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成22年度から施設の維持管理業務を民間業者へ包括委託したことにより、事務の効率性の改善が図られた。今後は、委託業務の遂行状況の適正な確認と、引き続き受託業者へ経費節減の協力を求めるとともに、薬品価格等の情報収集により、委託契約更新時の契約額が適正なものとなるよう心がける。東日本大震災により休止した施設の復旧、一日も早いし尿処理の再開に努めるとともに、管内2市1町のし尿処理については内陸部のし尿処理施設の協力を得て適正な処理に努めたい。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持			×	低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持			×														
	低下		×	×														
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。</p>																		

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	衛生課長
-------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																		
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>事業の意図等を的確に把握しており、適切な評価となっている。</p>					
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>し尿処理施設を含め、被災した衛生センターの早期復旧に努める。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持			×	低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持			×														
	低下		×	×														

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
